

## 臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、研究対象とはしませんので、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	当院における膵石症に対する膵管ステントの治療効果
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	遠藤伸也
研究期間	院長の許可を受けた日～ 2018 年 5 月
対象者	当院において 2010 年 8 月から 2017 年 10 月までに膵管ステント留置を含む治療を試みた膵石症の患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	近年膵石症の治療に対し、膵管ステント(EPS)留置や体外衝撃波結石破碎療法 (ESWL) などの手技が保険診療として認可され、治療方法の選択肢が増えて来ています。従来膵石症の治療の際に膵管口切開(EPST)が施行されることが多いですが、当院では経乳頭的な処置を施す場合、出来る限り乳頭機能を温存する方針をとっています。本研究では、当院で行った膵石症に対する内視鏡治療の効果について後方視的に調査し、乳頭機能を温存しながら膵石治療が効果的に行える可能性を検討します。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録 (カルテ) から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 背景因子 (年齢、性別など)</li><li>・ 臨床データ (画像検査結果、血液検査など)</li><li>・ 転帰 (治療効果、再発の有無など)</li><li>・ 偶発症</li></ul>
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 消化器内科 遠藤伸也 代表 054-247-6111